



今回は、スタイリッシュな外觀が目立つ、ホテルライクな暮らしを叶えられたT様邸のご紹介です。

玄関は、間仕切りを入れて、ご来客用とファミリー用を区別されています。広めの土間空間で、子ども用自転車や雪かきスコップ等の屋外アイテムも充分置けます。

リビングは、吹抜けのゆとりある大空間で、大きな窓から温かな日差しがたっぷり入り、キッチンとリビングのペニンシュラキッチンに、既存棚と造作棚とを融合したおしゃれな食器棚で、モダンなダイニングキッチンとなっています。

ランドリールームや独立型洗面室、パントリーなど、近年人気となっている空間もしっかりと完備され、回遊動線で家事がしやすくなります。

二階には、寝室の他に、隠れ家のような書斎や大容量のファミリークローゼットもございます。廊下には、吹抜けを望む室内窓があり、ご家族の存在をいつでも感じ取れる間取りです。

全体的にラグジュアリーなスタイルで、人気の空間やアイテムを多数取り入れられ、暮らしやすさを実現されたご新築です。



お客様紹介 T様邸



# にぎわい

【発行元】 第228号  
株式会社 大兼工務店 いちご倶楽部  
0748-42-1151

◆おお客様紹介 T様邸  
安全祈願祭・新年互礼会  
妙見山お参り

◆きらりまちの人 岡 奈系香様  
シャンフレス守山6丁目  
Dタイム  
◆Information

## 妙見山お参り

株式会社大兼工務店では毎年1月5日の安全祈願祭・新年互礼会後にグループ長以上が大阪にある能勢妙見山本瀧寺へのお参りを行っております。今年も辻野社長を含めたグループ長以上総勢24名が参加し、会社・社員・社員の家族の発展・健康・安全を祈願して来しました。今年のご神木である大杉の垂れ幕交換・小屋の修繕も行いました。今年が皆様にとっても良い年でありますように。



## 安全祈願祭・新年互礼会

2024年1月5日(金)に(株)大兼工務店本社にて、安全祈願祭及び新年互礼会を開催致しました。

今年、4年振りの通常開催ということでパートナー企業様85社のみなさまにご参集いただき、社員一同とともに安全祈願・隆昌祈願をいたしました。

この式典は、今年1年の作業所の安全・関係各位の健康を祈ると共にパートナー企業様とのより一層の関係を築き、協力し合う体制を創ることを目的としております。

そして、お客様に喜んで頂ける会社として共に協力し、成し遂げることを再確認致しました。



# キラリ まちの人

岡 奈系香さん



今回は東近江市佐野町(旧能登川町)にお住いの、岡奈系香さんをご紹介します。

大阪にお住まいで、浪速神楽やってみませんか」とお誘いがあり、練習に参加したことが横笛を吹くきっかけとなりました。「その場で与えられた横笛を吹いたら、一発で良い音が出たんです。その後、横笛も直ぐに音が出て、私と横笛は相性がいいんだと感じたんですよ」と笑われま

す。実は岡さんは、子どもの頃に厳しい指導についていけず、ピアノや五線譜アレルギーとなり音楽への関わりを避けておられたらしいのです。すぐ吹けた横笛の音、暗号の様な譜面、呪文の様な口伝の口唱歌が五線譜アレルギーを取り払ったようです。神楽演奏を始めようという。神楽と、雅楽の演奏への誘いがあり、演奏の録音テープと譜面をもらい、独学の我流で練習を重ねられました。

「折角の機会だから正式に習って学びたい」と思い、京都の雅楽会に入会し、本格的に3年間の指導を受け、雅楽の演奏について学んだんです」と話されます。

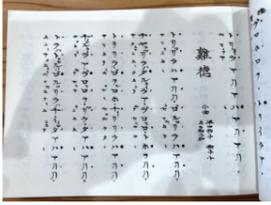


雅楽には管楽器(笙、篳篥、龍笛)、絃楽器(琵琶、箏)、打楽器(括弧、太鼓、鉦鼓)をオーケストラの様に演奏する管絃と、舞踏と音楽からなる舞楽の2種類があります。江戸時代までは皇族や貴

族の家系である、6つの楽家が雅楽に携わる世襲職でしたが、明治時代から一般の人に門戸を開かれました。しかし、皇室の儀式や宮中晩餐会、国際親善行事など皇室と関りが大きいため、今でも楽師として雅楽の指導者となるには、宮内庁の式部職業部(予科・本科・楽生科)で雅楽を学ばねばなりません。その指導者の一人である芝祐靖さんに教えを請いたい、憧れられていた岡さん。知人の紹介で、京都の「音輪会」を訪ねられました。雅楽を追求する奏者が集うこの会では、雅楽の精神や響きを厳しく教わり、日本の伝統音楽を積極的に発信・伝えるための定期演奏会や、雅楽教室の開催をされています。芝祐靖さんはこの会で龍笛の講師と共に、音楽監督をされていました。

「見学に行った定期演奏会の芝先生の講習会で、退吹きがわからず吹けなくて、その後入会して猛特訓して定期演奏会の舞台で再挑戦させてもらったんです」と岡さん。その後10年間「音輪会」で、みっちり雅楽を学び、楽しまれました。

雅楽の楽しみは何と云っても、特別な場所や人に出会える貴重な経験ができること。「今上天皇陛下が御一代に一度の大嘗祭にあわせて神社で斎行される大嘗祭当日祭の祭



典楽のご奉仕や、歴史的に続けられている様々に伝統行事、国際親善行事などに参加させてもらえるんですよ。仕事なんですけれど仕事以上の楽しみや喜びが一杯です」と笑われます。今でも京都で行われる行事には、奏者としてご奉仕されています。

宇宙を表している神秘的で懐かしい音色の雅楽を、20年前から加神社ゆかりの鮎にちなみ「横笛琵琶湖お鮎倶楽部」として、横笛を教えられてる岡さん。最近では、オリジナル曲やアレンジした雅楽古典曲などを龍笛や笙と和太鼓や箏で演奏したり語り、歌や舞で近江の昔話や創作物語を披露する『和楽器ユニット月の舟』として自由な活動を始めています。千年以上前の人が聞いた音色を、唯一、今、聞ける音として皆さんに聞かせたいと、これから地域の様々なところで演奏されることでしょうか。是非一度、神秘的で懐かしい演奏を聞いてみませんか。



2024年3月8日開催ロビーコンサート「邦楽の昼下がり」現代邦楽作曲家高槻鐘三 第五回作品コンサート。岡さんの横笛と箏と胡弓とのコンサートです。

champfraises だいかねの家

利便性抜群！人気のエリア

シャン・フレイズ守山6丁目

## 好評!! 土地分譲中

学校・病院・スーパー・商業施設が徒歩圏に揃う好立地！  
緑あふれる公園も充実の閑静な住環境は子育てファミリーに最適です

全11区画	号地	面積	販売価格
	1号地	169.29㎡ (51.21坪)	2,308万円
	6号地	169.22㎡ (51.21坪)	商談中
	7号地	169.51㎡ (51.27坪)	2,179万円
	9号地	169.53㎡ (51.28坪)	2,205万円

全11区画

守山駅から徒歩20分！JR守山駅まで新快速利用、京都駅まで25分、大阪駅まで55分。通勤通学も軽快です。

全区分51坪以上！！日当たりの良い広々とした敷地にゆとりを兼ねた建築可能。前面道路は駐車もしやすい6m。

高度な技術で夢も形に！長期優良住宅のご提案も可能です。「収納スペースがほしい」「キッチン動線を便利にしたい」生活の中の理想を叶えます。

Contact お気軽にお問合せください

お電話 0120-15-4939 受付時間 9:00-18:00

お問合せ フォーム

LEE My star aquiras+ だいかねの家

LEE はおしゃれと暮らしを楽しむ女性を応援するライフスタイルマガジン。このコロナ禍において、ステイホームにも負けず、日々の暮らしを楽しむ読者たち。"クオリティ・オブ・ライフ"の向上を目指す彼女たちの興味にオールジャンルで答えます。そんなLEEの一冊も暮らしやすい家づくり〜に大兼工務店が滋賀県代表で取り上げられました！

Instagram フォローする お願いします。

だいかね My star aquiras+ だいかねの家 TEAM DOBOKU

YouTube チャンネル登録 お願いします。

だいかねの家\_大兼工務店

ありがとうマンが贈る

~心に残るありがとう~話

第185章

先日、部屋の本を新調した本棚に片付けていました。その時、以前から感動するエピソードを書き綴ったノート(実は456話あります!)に出会いました。なつかしく片づけを止めて読み入ってしまいました。

始めに呼んだエピソード、とても悲しくなりましたが、人として真正面から生きていこう！相手中心主義で生きていこう！って励ましてもらいました。そんなお話を皆さんにもシェアさせていただきます。では、始まり、始まり・・・。

「優しい味のおにぎり」

もう20年以上前のことです。古びたアパートでの一人暮らしの日々。安月給ではあったが、なんとか生計を立てていました。隣の部屋には50代のお父さんと、小学2年生の女の子、陽子ちゃん暮らししていました。

お父さんとは挨拶を交わす程度でしたが、陽子ちゃんとは洗濯場でよく会い、話す機会が多かったのです。

ある夕方、彼女と話していると、私のお腹が「ブー」と鳴りました。陽子ちゃん「お兄ちゃん、お腹空いてるの?」と心配そうに。

「まあね」と答えると、彼女は「ちよつと待って」と言いつつ部屋に入り、しばらくして形のいびつなおにぎりを持ってきてくれました。味は無いけれど、彼女の優しさが心に沁みました。その後、彼女との出会いは途絶えましたが、どうしたのかな、と思う程度でした。

たが、心の隅で気になっていました。ある日、帰宅すると救急車が止まっていた。大家さんに聞くと、「無理心中だよ」とのこと。

救急隊が担架を運び出してきました。小さな身体が毛布に覆われていました。まさか、陽子ちゃん?

後になって知ったのですが、お父さんは病気がちで、ガスも水道も止められていたそうです。電気も止められ、市役所の職員が事情を聞きにきたときに事件が発覚しました。

「あれ?お兄ちゃん、お腹空いてるの?」彼女の言葉が脳裏に浮かびます。あの時、彼女はすでに食べ物がなかったのでしょうか。

食べるものがないのに、私におにぎりを作ってくれたのです。小さな手で一生懸命に。涙が溢れました。やるせない気持ちでいっぱいになりました。その後すぐ引越しましたが、今でもあのアパートの近くを通ると、彼女のことを思い出します。

自分がどんな境遇であっても、誰かの為のしてあげたい、してさせてあげたいと思える感度は、そもそも人間が持っている道徳観なんですか・・・。

陽子ちゃんの行動から、自分も同じ体験を経験したからこそ、その気持ちに寄り添えたのだらうと思いました。

いつも自分のことばかり考えて生きている、目の前のことから逃げて生きていることが、とても恥ずかしくなりました。

by ありがとうマン